

地域通貨（TR）運営委員会第22回会議レポート

1. 開催日時

平成25年7月24日（水）午後4時より午後5時30分まで

2. 場所

富岡市生涯学習センター・第2会議室にて

3. 参加者

宮澤委員長・高間（弘）委員・小川委員・長委員
日向委員・時田監査
林事務局長
オブザーバー：なし
・・・以上7名

4. 欠席者

草場史子委員・・・母の介護
高間一幸委員・・・家業作業
高橋忠宏副委員長・・・社内業務
富田顕嗣委員・・・社内業務
浅川高広委員・・・社内業務
・・・以上5名

5. 内容

① 司会進行・・・林事務局長

② 開会の挨拶・・・宮澤委員長（議長）

③ 会議

【TR事業への意思確認】

・時田監査より本日のテーマに先立ち、そもそものTR事業に対する各委員の基本姿勢が問われた。

・各委員の基本姿勢は以下の通りであった。

＜基本姿勢＞・・・「当該事業を今後も続けたいのか？それともやめたいのか？」

高間（一）委員（欠席者）・・・止めても良い

草場委員（欠席者）・・・皆さんの意向に従う

浅川委員（欠席者）・・・判断がつかない

富田委員（欠席者）・・・皆さんの意向に沿う

高橋副委員長（欠席者）・・・続けてほしい
遠山委員（非参加者）・・・皆さんの意向が大切
遠藤委員（非参加者）・・・無理なら続けても無駄
小林委員（非参加者）・・・答えようがない
玉置委員（非参加者）・・・止めないでほしい
飯田委員（非参加者）・・・続けるべき
日向委員（参加者）・・・続けたい
小川委員（参加者）・・・続けたい（条件付き）
長委員（参加者）・・・続けたい（オブザーバー2名の意向含む）
高間（弘）委員（参加者）・・・続けたい（条件付き）
林事務局長（参加者）・・・続けたい
宮澤委員長（参加者）・・・続けたい

<結果>

○：続けたい・・・9ポイント
△：どちらでもない・・・5ポイント
×：やめてもより・・・2ポイント

【今までの反省及び今後の方針】

<各委員より出された意見>

- ・少数精鋭で取り組む体制を望みたい
- ・基本姿勢に問題がありそうな人は除いてほしい
- ・排除の論理はやめるべきだ
- ・TRの開始時期を明確にするべき
- ・TRの内容がいまいちわからない
- ・部会など組織の変更をお願いしたい
- ・委員全員のコンセンサスを得るべき
- ・各参加者で持ち回りのセミナー（プレ・コンシェルジュ養成講座）の提案

<総論>

次回に当番制の手法に対するコンセンサスを得ることで、
今後の方針を確認することとした。

【感謝の TR について】

- ・浅川委員：感謝券の返還が必要です。
- ・草場委員：貸し借りはありません。
- ・高間（一）：お詫びの TR が必要です。
- ・富田委員：感謝券の返還が必要です。
- ・小川委員：野菜券受理
- ・長委員：野菜券受理
- ・宮澤委員長：野菜券受理
- ・高橋副委員長：感謝券の返還が必要です。
- ・高間（弘）委員：野菜券受理
- ・林事務局代行：野菜券受理
- ・日向委員：野菜券受理
- ・時田監査：救済活用

6. 事務局より連絡事項

① 次回の予定

平成 25 年 9 月 27 日（金）午後 12 時 30 分より午後 2 時まで

② 議題は

「プレ・コンシェルジュ養成講座の当番制など」

7. 閉会の挨拶

宮澤議長より次回の会議には全員参加を強く要請され、会議は閉会した。

8. 所見

・・・当該企画を立ち上げて 3 年を経過しましたが、未だに足踏み状態が続いています。初心を取り戻すとともに、今後の事業展望を図る為にも、一度立ち止まって見ることに致しました。さて吉と出るか凶と出るか次回が・・・

※このレポートは議事録ではありません。あくまでもホームページ用に作成したダイジェスト版であることをご理解下さい。